

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【公表番号】特表2009-542545(P2009-542545A)
 【公表日】平成21年12月3日 (2009.12.3)
 【年通号数】公開・登録公報2009-048
 【出願番号】特願2009-518994(P2009-518994)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 5/66 (2006.01)

B 6 5 D 85/10 (2006.01)

B 6 5 D 5/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 5/66 3 0 1 G

B 6 5 D 85/10

B 6 5 D 5/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器 (1 0) と、ヒンジ (1 9) に沿って容器 (1 0) に回動可能に取り付けられ、従って前記容器が開いている位置と前記容器が閉じている位置との間で回動可能な蓋 (1 2) とを備え、閉じられた包装体は角柱の形状に見え、断面がほぼ三角形であるヒンジ連結された蓋を備える硬質の包装体であって、

前記蓋 (1 2) が閉位置に保たれる固定手段 (2 7) を備えることを特徴とする、包装体。

【請求項 2】

前記固定手段 (2 7) は、前記ヒンジ (1 9) から離れ、前記角柱の 2 つの側面が結合されている領域に一致するように配置されている、請求項 1 に記載の包装体。

【請求項 3】

前記固定手段 (2 7) は、前側の角の端 (2 6) に配置され、前記角柱の 2 つの側面が結合されている領域を形成している、請求項 2 に記載の包装体。

【請求項 4】

固定手段 (2 7) は、前記容器 (1 0) と前記蓋 (1 2) との間に作動する係合部材または突端 (2 8) を含む、請求項 3 に記載の包装体。

【請求項 5】

係合部材 (2 8) は、前記容器 (1 0) に付随する前側の角の端 (2 6) の成形部分 (2 9) を含み、前記蓋 (1 2) に向かって延び、前記蓋 (1 2) により提供される凹部 (3 0) に挿入可能である、請求項 4 に記載の包装体。

【請求項 6】

前記係合部材 (2 8) は、前記蓋 (1 2) に付随する前側の角の端 (2 6) の成形部分 (2 9) を含み、前記容器 (1 0) に向かって延び、前記容器 (1 0) により提供される凹部 (3 0) に挿入可能である、請求項 4 に記載の包装体。

【請求項 7】

前記成形部分（２９）は、前記凹部（３０）の内側の輪郭にほぼ適合された外形を有する、請求項５または６に記載の包装体。

【請求項８】

前記成形部分（２９）は、ほぼ蟻継ぎの外見の形状を有する、請求項７に記載の包装体。

【請求項９】

前記容器（１０）の内側に付随し、前記蓋が閉位置にあるときに、前記蓋（１２）を係合して保持する働きをする支持体（２２）を更に備える、請求項１から８のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項１０】

前記容器（１０）の内側に付随し、前記蓋が閉位置にあるときに、前記蓋（１２）を係合して保持する働きをする支持体（２２）を更に備え、

固定手段（２７）は、前記支持体（２２）と前記蓋（１２）との間で作動する係合部材（２８）を含む、請求項３に記載の包装体。

【請求項１１】

前記係合部材（２８）は、支持体（２２）に付随する前側の角の端（２６）の成形部分（２９）を含み、前記蓋（１２）に向かって延び、前記容器（１０）により提供される凹部（３０）に挿入可能である、請求項１０に記載の包装体。

【請求項１２】

前記係合部材（２８）は、前記蓋（１２）の内側の挿入部分（３１）に付随する前記前側の角の端（２６）の成形部分（２９）を含み、前記支持体（２２）に向かって延び、前記支持体（２２）により提供される凹部（３０）に挿入可能に形成されている、請求項１０に記載の包装体。

【請求項１３】

前記成形部分（２９）は、前記凹部（３０）の内側の輪郭にほぼ適合する外形を有する、請求項１１または１２に記載の包装体。

【請求項１４】

前記成形部分（２９）は、ほぼ蟻継ぎの外見の形状を有する、請求項１３に記載の包装体。

【請求項１５】

外形が略四角形に見え、包装材料の平坦な打抜き素材（３２）から形成されており、互いに平行に配置され、前記包装体の前面（１８）に一致する２つのパネル（３４）と、前記包装体の後面（１７）に一致する１つのパネル（３５）と、１つの接続パネル（３６）とを画定する予め折り目を付けられた３つの折り領域（３３）と、

予め折り目を付けられた３つの折り領域（３３）を横切り、前記容器（１０）の開いた上端部（１１）に一致して、一方の前記容器（１０）の前壁（１４）が他方の前記蓋（１２）の前記前壁（１６）から離される横方向のＶ字形の切込み（３７）と、

予め折り目を付けられた領域（３３）の横方向に配置され、前記蓋（１２）のヒンジ（１９）として機能するＶ字形の切込み（３７）のそれぞれの端から延びる２つの折り線（３９）と、

関連する折り線（４２）の方法により、１つの側面に沿って素材（３７）に結合され、それぞれが前記包装体（１）の頂部（８）および底部（９）に一致するほぼ三角形の２つの羽根（４０，４１）とを備える、請求項１から１４のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項１６】

前記素材（３２）は、前記包装体（１）の前記頂部（８）および前記底部（９）を形成する前記羽根（４０，４１）に付随するように、前記容器（１０）および前記蓋（１２）の前記前壁（１４，１６）を提供する前記パネル（３４）の両側端から延びるフラップ（４３）をさらに備えることを特徴とする、請求項１５に記載の包装体。

【請求項１７】

外形が略四角形に見え、包装材料の平坦な打抜き素材（３２）から形成されており、

互いに平行に配置され、前記包装体の前面（１８）に一致する２つのパネル（３４）と、前記包装体の後面（１７）に一致する１つのパネル（３５）と、１つの接続パネル（３６）とを画定する予め折り目を付けられた３つの折り領域（３３）と、

予め折り目を付けられた３つの折り領域（３３）を横切り、前記容器（１０）の開いた上端部（１１）に一致して、一方の前記容器（１０）の前壁（１４）が他方の前記蓋（１２）の前記前壁（１６）から離される横方向のＶ字形の切込み（３７）と、

予め折り目を付けられた領域（３３）の横方向に配置され、前記蓋（１２）のヒンジ（１９）として機能するＶ字形の切込み（３７）のそれぞれの端から延びる２つの折り線（３９）と、

関連する折り線（４２）の方法により、１つの側面に沿って素材（３７）に結合され、それぞれが前記包装体（１）の頂部（８）および底部（９）に一致するほぼ三角形の２つの羽根（４０，４１）とを備え、

前記Ｖ字形の切込み（３７）は、前記包装体の前側の角の端（２６）に一致する中央の予め折り目を付けられた折り領域（３３）を横切るように延び、前記成形部分（２９）およびそれぞれの前記凹部（３０）を形成するほぼ輪状の部分（４４）を有する、請求項５または６に記載の包装体。

【請求項１８】

前記支持体（２２）は、ほぼ四角形の外形の包装材料の平坦なリーフ（４５）から形成され、前記支持体（２２）の突起部分（２４）を提供する２つのパネル（４７）を区画するように配置されている互いに平行な予め折り目を付けられた折り領域（４６）を含み、

前記パネル（４７）は、前記支持体（２２）が部分的に前記容器（１０）から飛び出すような形態で、前記包装体の前記前面（１８）を提供する前記素材（３２）の２つの前記パネル（３４）により提供されている内面に固定されている、請求項９から１６のいずれか一項に記載の包装体。

【請求項１９】

前記包装体の前側の角の端（２６）に一致する前記リーフ（４５）の中央の予め折り目を付けられた領域（４６）は、一方の前記支持体（２２）の前記パネル（４７）と他方の前記蓋（１２）の前記挿入部分（３１）とを区画する横方向のＶ字形の切込み（５２）により占められている、請求項１８に記載の包装体。

【請求項２０】

前記挿入部分（３１）は、前記蓋（１２）に永久的に取り付けられ、前記支持体（２２）から取り外される、請求項１９に記載の包装体。

【請求項２１】

前記Ｖ字形の切込み（５２）は、前記包装体の前記前側の角の端（２６）に一致する中央の予め折り目を付けられた領域（４６）を横断して延び、前記成形部分（２９）およびそれぞれの前記凹部（３０）が形成されるほぼ輪状の部分（５３）を有する、請求項１９に記載の包装体。

【請求項２２】

前記平坦なリーフ（４５）は、２つの付属物（５１）を有し、それぞれが前記支持体（２２）の前記突起部分（２４）を形成するそれぞれのパネル（４７）に付随し、前記包装体（１）の前記底部（９）を形成する前記フラップ（４３）に取り付けられる、請求項１８から２１のいずれか一項に記載の包装体。